

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016
伝える考える福島の今プロジェクト

現地視察ツアー

福島 文化 文化財

～被災地のミュージアムと～
文化財のこれから



双葉町歴史民俗資料館 2016年6月(撮影:藤井 光)

2/17(金)

現地視察ツアー1日目

時間: 13:30 ~ 17:00

会場: 福島県立博物館

定員: 50名(申込不要)

講師: 藤井 光(映像作家)

2/18(土)

現地視察ツアー2日目

時間: 9:30 ~ 18:30

視察コース:

南相馬市博物館

～南相馬市立福浦小学校

～朝日座

定員: 20名(要申込・先着順)

講師: 藤井 光

二本松文雄

(南相馬市博物館学芸員)

2/19(日)

現地視察ツアー3日目

時間: 9:30 ~ 19:00

視察コース:

アトスペース盛高屋

～双葉町歴史民俗資料館

～ヘルスケアーふたば

～復興記念公園・アーカイブ拠点施設予定地～

定員: 20名(要申込・先着順)

講師: 藤井 光

吉野高光(双葉町教育委員会生涯学習係長)

橋本靖治(双葉町秘書広報係長)

■ 3日間いずれも参加費無料

■ 被災地とミュージアム、文化財レスキューへのご理解を深めていただくために、できるだけ3日間を通してのご参加をお勧めいたします。

■ 3日間の現地視察ツアーの様子は記録されます。

主催: はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

協力: 双葉町、南相馬市博物館、「寄留者たち」製作委員会

平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016



はま ▲ なか ▲ あいづ
文化連携プロジェクト

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは…

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2016年度は、11のプロジェクトを実施。詳しくはこちら → hamanakaaizu.jp

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトでは、今年度〈伝える考える福島の今プロジェクト〉を実施し、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故後の現状と復帰への過程をご紹介します。参加者のみなさんと共に福島について考える場を設けています。県内各地では、震災と原発事故から6年が経とうとしている今も、被災した文化財を救出・保存するためのさまざまな活動が続けられています。その一方で、被災地の状況や、避難された住民の方々の生活は刻々と変化しており、新たな課題も少なくありません。人、土地、文化の結びつきが絶たれたまま時間が過ぎゆくなかで、文化財はこの地域の歴史を、どのように次世代に語り得るのでしょうか。今回は、映像作家である藤井光氏と福島各地の文化財の状況を視察しながら、このような問題についての対話を重ねてゆくための3日間のツアーを開催します。ぜひご参加ください。

スケジュール

2月17日 (金)	13:30~13:45	福島県立博物館講堂集合・事業説明
	13:45~15:00	映画「ASAHIZA」上映(解説:藤井光)
	15:00~16:00	ふくしま震災遺産保全プロジェクト収蔵資料見学 ふくしま震災遺産保全プロジェクト成果展見学
	16:00~17:00	福島県立博物館 ディスカッション「福島の震災をいかに伝えるか」(司会:藤井光)

2月18日 (土)	09:30	福島県立博物館通用口集合・出発
	12:00~	福島駅西口バスプール(途中乗車可)→南相馬市 ツアーガイド「震災後の福島での撮影について1」(報告:藤井光)
	13:30~14:30	南相馬市博物館見学
	15:00~15:30	南相馬市立福浦小学校見学(ガイド:二本松文雄)
	16:00~17:00	朝日座 ディスカッション「文化財と地域の記憶」(司会:藤井光)
	18:30	いわき駅解散

2月19日 (日)	09:30~10:30	アートスペース盛高屋 トーク「文化財レスキューについて」(報告:藤井光、吉野高光)
	10:30~12:30	いわき駅南口ロータリー(ミスタードーナツいわき駅前ショップ前)集合→双葉町 ツアーガイド「震災後の福島での撮影について2」(報告:藤井光)
	12:30~13:30	双葉町歴史民俗資料館、図書館及び周辺見学(ガイド:吉野高光、橋本靖治)
	13:45~14:30	ヘルスケアーふたば見学(ガイド:吉野高光、橋本靖治)
	14:45~15:00	復興記念公園・アーカイブ拠点施設予定地見学(ガイド:吉野高光、橋本靖治)
	16:30	いわき駅南口ロータリー(途中降車可)
	19:00	福島県立博物館解散

講師プロフィール

■ 藤井光

美術家・映像監督。パリ第8大学美学・芸術第三博士課程DEA卒。2005年帰国以降、現代日本の社会状況を、映像メディアを用いて表現。東日本大震災以降の被災地で災害と芸術の関わりをテーマに各地で撮影を続けている。作品に南相馬市に所在する登録有形文化財「朝日座」に取材した「ASAHIZA」の他、「プロジェクトFUKUSHIMA」[沿岸部風景記録 福島県飯館村2012年]など。

■ 二本松文雄

南相馬市博物館学芸員。専門は民俗学。南相馬市の民俗調査、資料収集、研究に携わり、建物解体が急激に進む南相馬市内で文化財レスキューを続けている。本現地視察ツアーでは、2016年7月に居住制限区域及び避難指示解除準備区域が解除された南相馬市小高区にある南相馬市立福浦小学校(本校)収蔵のレスキューされた文化財を案内する。

■ 吉野高光

双葉町教育委員会生涯学習係長。日本考古学協会会員。長年、双葉町歴史民俗資料館の学芸員を務め、東日本大震災後2年目から現職。東京電力福島第一原子力発電所事故により長期休館を余議なくされた双葉町歴史民俗資料館の収蔵資料文化財レスキューの中心となり、館内資料の救出・保全に尽力した。

■ 橋本靖治

双葉町秘書広報係長。東京電力福島第一原子力発電所事故からの避難が続くなか、双葉町の現状を発信、共有するため様々な職務を遂行。本現地視察ツアーでは、2011年避難当時の状況を残す「ヘルスケアーふたば」や今後の復興のシンボルとなるであろう「復興祈念公園・アーカイブ拠点施設」建設予定地をガイドする。

■ 現地視察ツアー2日目・3日目について

- * 集合・解散地から自宅までの交通費、宿泊費、および現地での食費は各自ご負担ください。
- * 未成年者は保護者の同伴もしくは同意書が必要です。
- * 2/19日は、16歳以上の方のご参加を受け付けます。
- * 2/18日、2/19日の旅行保険料は主催者が負担いたします。
- * 2/18日は福島駅西口バスプールにて(12:00集合)途中乗車可。
- * 2/19日はいわき駅南口ロータリーにて(16:30予定)途中下車可。

■ 現地視察ツアー3日目・帰還困難区域への立ち入りについて

- * 双葉町内の帰還困難区域に立ち入ります。あらかじめ主催者が双葉町に立ち入り申請を行います。
- * 主催者が防護服を準備、参加者に配布いたします。
- * 主催者が線量計を準備します。お持ちいただきご使用いただけます。
- * 2/19日ご参加の方は、当日、帰還困難区域ゲートで顔写真付身分証明書の提示を求められますので、運転免許書もしくはパスポートを必ずご持参ください。

■ 申込・お問合せ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

tel:0242-28-6000(福島県立博物館代表) *毎週月曜日、祝日の翌日は休業。

fax:0242-28-5986(福島県立博物館内)